

台湾初の製塩場

巡る散策コース



台南市塩塚図書館

2015年末に開館した台南塩塚図書館は、奇美博物館を手がけた蔡宜璋建築士による設計で、その外観は書籍を積み上げたようなデザインとなっている。これは、知識の結晶を象徴していて、図書館の機能と塩塚の地方の特色を表している。蔡宜璋建築士が手がけた大型公共建築作品は、安平区林默娘公園(2004年)、仁徳区奇美博物館(2015年)、南区台南市塩塚図書館(2015年)、北区許石音楽図書館(2018年)、南化区公役所(2020年)等がある。

一緒に飛ぼう、子供たち(パブリックアート)

スチール板を使用し、絵が施された、このパブリックアートは、「知識は人類の進歩を記すものであり、歴史のタイムラインにおいて、誰もが子供のように学び、知識を追求する心は無限に飛翔する」ということを創作の理念としている。作者: 眼蟲計畫「Euglena Program of Art」(作風の異なる二人のアーティスト: 呂沐仁、焦聖偉により2011年設立されたアートチーム)。この作品は、2015年に創作されたもので、材質はスチール板で、手描きの絵が施されている。



台湾第一塩(台湾初の塩)の石碑

台湾第一塩の石碑は、2012年、台南市政府観光旅遊局によって建立された。この碑には、かつての塩塚における製塩の歴史が説明されている。現在は、この塩塚エリアは次々と商工業エリアに生まれ変わっているが、塩塚の盛衰と製塩の歴史の記憶は、人々の心に深く刻まれていて、塩塚の先人の奮闘の精神を受け継ぎ、この地の歴史と文化遺産の特色を称えるためにこの碑が建立された。

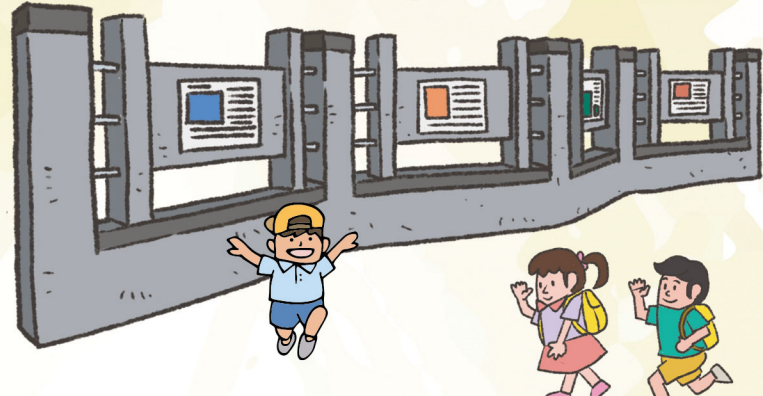
利南街

現在の「利南街」は塩塚溪の旧河道で、塩塚溪は以前湾曲していたため、度々氾濫した。その後、河川の整備が行われ、さらに地下化され、アスファルトが敷かれて今日の「利南街」となった。



日新国小(小学校)

台南市南区日新国小(小学校)は、1912年当時は、「台南市安平公学校(現在の安平区石門國小塩塚分校)」だった。1918年、独立して「台南市塩塚公学校」に改名された。日新小学校は、2018年5月5日、創立百年を祝った。そばには、T-bike(台南市公共レンタサイクル)の「日新国小ステーション」があり、台南市シェアサイクルを借りたり返却したりできる。



塩塚街

清の時代、塩を保管する倉庫または製塩業を管理(塩税を納める)する場所を「塩塚」と称した。ここは以前「瀨北場」で、「塩塚」を設置することで製塩業務を管理していたと思われるが、詳細な位置は不明。2016年台南市政府が、「塩塚図書館に隣接していた」ことを踏まえて、この道を「塩塚街」と命名した。

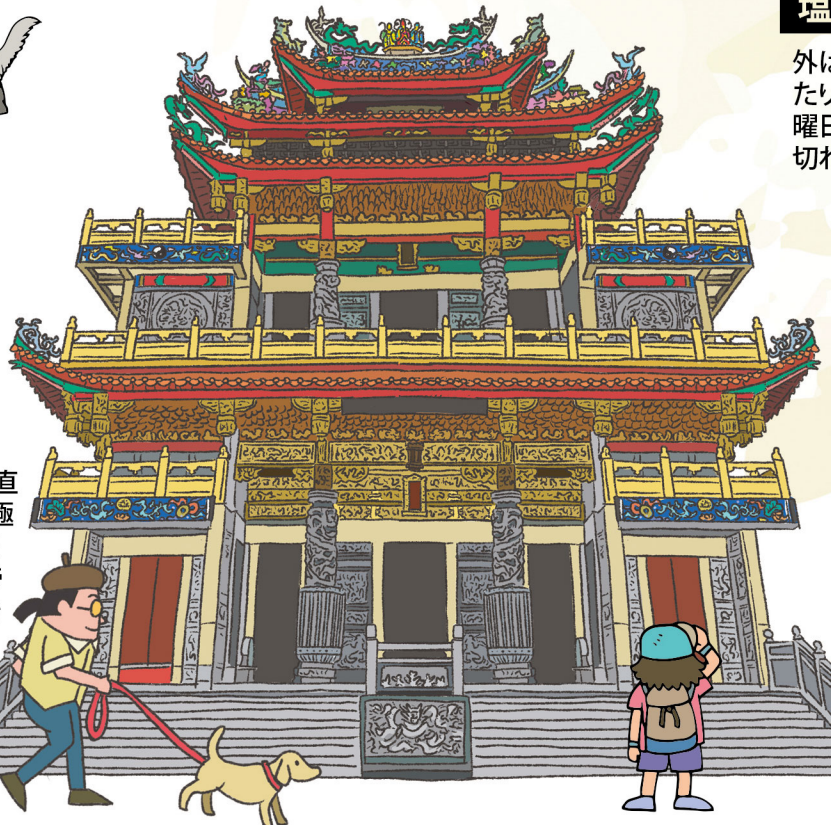


塩塚観音寺

塩塚観音寺は、光緒年間に中国浙江南海普陀山からお迎えした観音菩薩を本尊としている。最初は民家に祀られていたが、現在の廟宇が1992年に完成した。一階に祀られているのは「五府千歳」で、傍らには「福德正神、註生娘娘」も祀られる。二階には観音菩薩が本尊として祀られ、他に「送子観音」、「臨水夫人」、「千手観音」、「虎爺公」、「南斗星君」、「北斗星君」等の神様が祀られている。

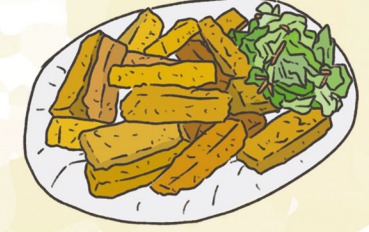
塩塚北極殿

塩塚北極殿は、元は「玄天上帝」を祀る小さな廟だったが、1778年台湾で有名な知府(知事に相当)だった蔣元樞の寄付で建て直され、1988年新たに建立されて現在の姿となる。かつて塩塚北極殿近隣の住民はほとんどが農業と製塩業に従事していて、「玄天上帝」を心の拠り所とし、信仰の中心であった。住民は、玄天上帝の靈験の高さを畏敬し、毎年旧暦3月3日に玄天大帝の誕生日を盛大に祝う。以前塩塚地区は土地が低く、度々水害に見舞われたため、塩塚西南エリアでは、「騎虎將軍」を祀って、土地を平穏と住民の安全を願った。その後、公営住宅が建設された後、塩塚北極殿の左側に「五雲宮」が建立され、その地の繁栄、国家安泰と国民の平安を祈っている。



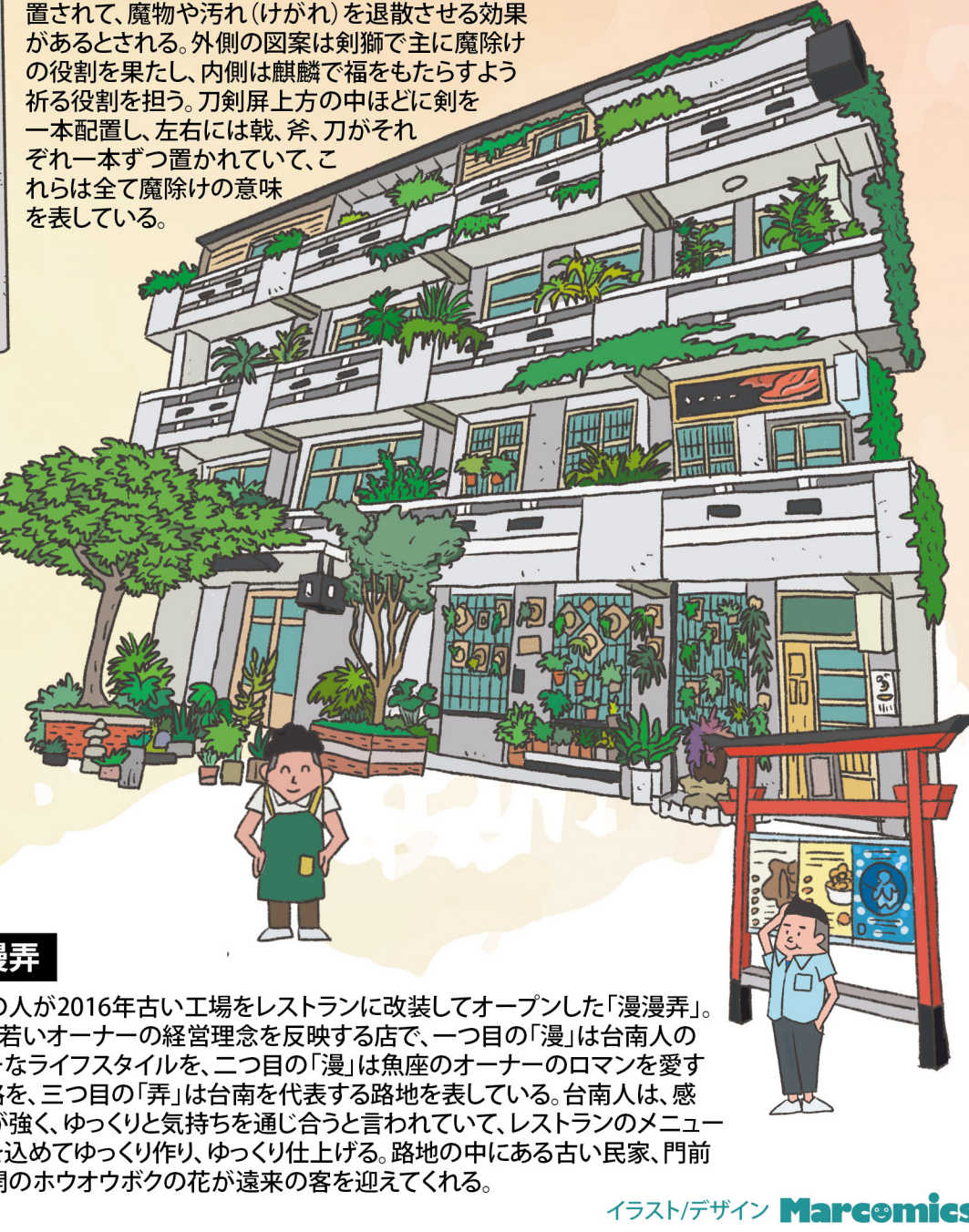
塩塚北極殿臭豆腐

外はサクッと、中は柔らかい口当たりの臭豆腐。毎週木曜日から日曜日の午後三時半から開店。売切れた時点で閉店となる。



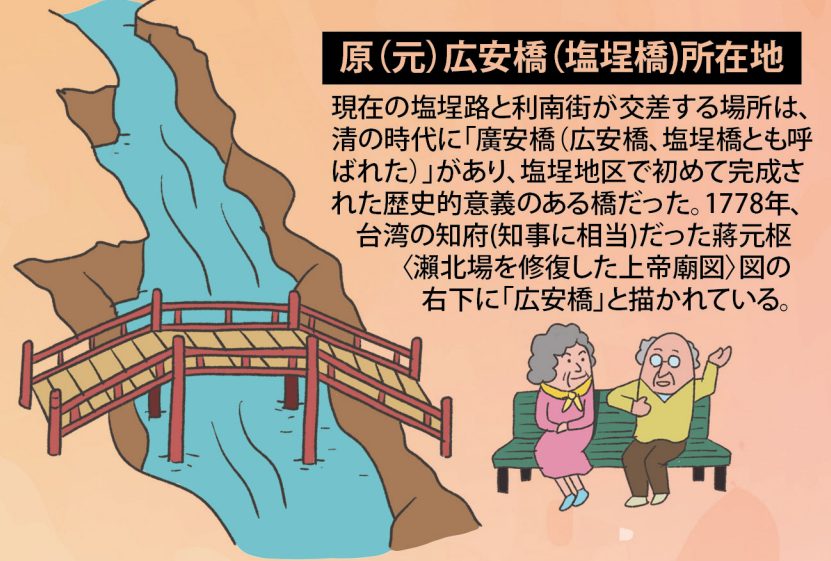
漫漫弄

地元の人が2016年古い工場をレストランに改装してオープンした「漫漫弄」。ここでは若いオーナーの経営理念を反映する店で、一つ目の「漫」は台南人のスローなライフスタイルを、二つ目の「漫」は魚座のオーナーのロマンを愛する性格を、三つ目の「弄」は台南を代表する路地を表している。台南人は、感受性が強く、ゆっくりと気持ちを通じ合うと言われていて、レストランのメニューも心を込めてゆっくり作り、ゆっくり仕上げる。路地の中にある古い民家、門前の満開のホウオウボクの花が遠来の客を迎えてくれる。



原(元) 広安橋(塩塚橋)所在地

現在の塩塚路と利南街が交差する場所は、清の時代に「廣安橋(広安橋、塩塚橋とも呼ばれた)」があり、塩塚地区で初めて完成された歴史的意義のある橋だった。1778年、台湾の知府(知事に相当)だった蔣元樞(瀨北場を修復した上帝廟図)の右下に「広安橋」と描かれている。

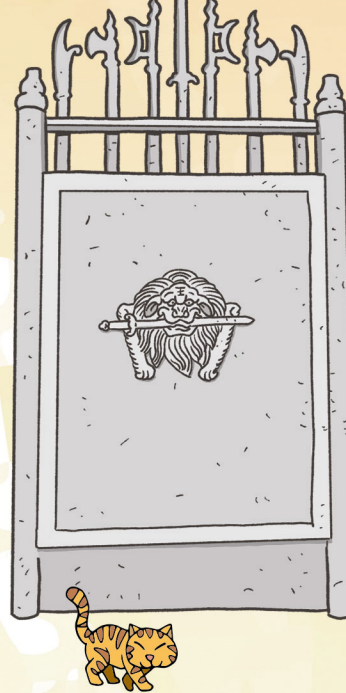


塩塚路

「塩塚路」は、元々塩塚地区の重要な道路だったが、後に台南市政府により新たな金華路が建設されてから、一般の車両はほとんど外周の金華路を通るようになり、「塩塚路」は地元民が利用する道路となった。

張家剣獅/刀剣屏

台南市南区ではあまり見られないセメントセラミック製の「刀剣屏(魔除けを兼ねた衝立)」で、内と外に魔除けの「剣獅」と麒麟が施されている。刀剣屏は、伝統的民家の魔除けで、大門外の中庭に設置されて、魔物や汚れ(けがれ)を退散させる効果があるとされる。外側の図案は剣獅で主に魔除けの役割を果たし、内側は麒麟で福をもたらすような祈る役割を担う。刀剣屏上方の中ほどに剣を一本配置し、左右には戟、斧、刀がそれぞれ一本ずつ置かれていて、これらは全て魔除けの意味を表している。



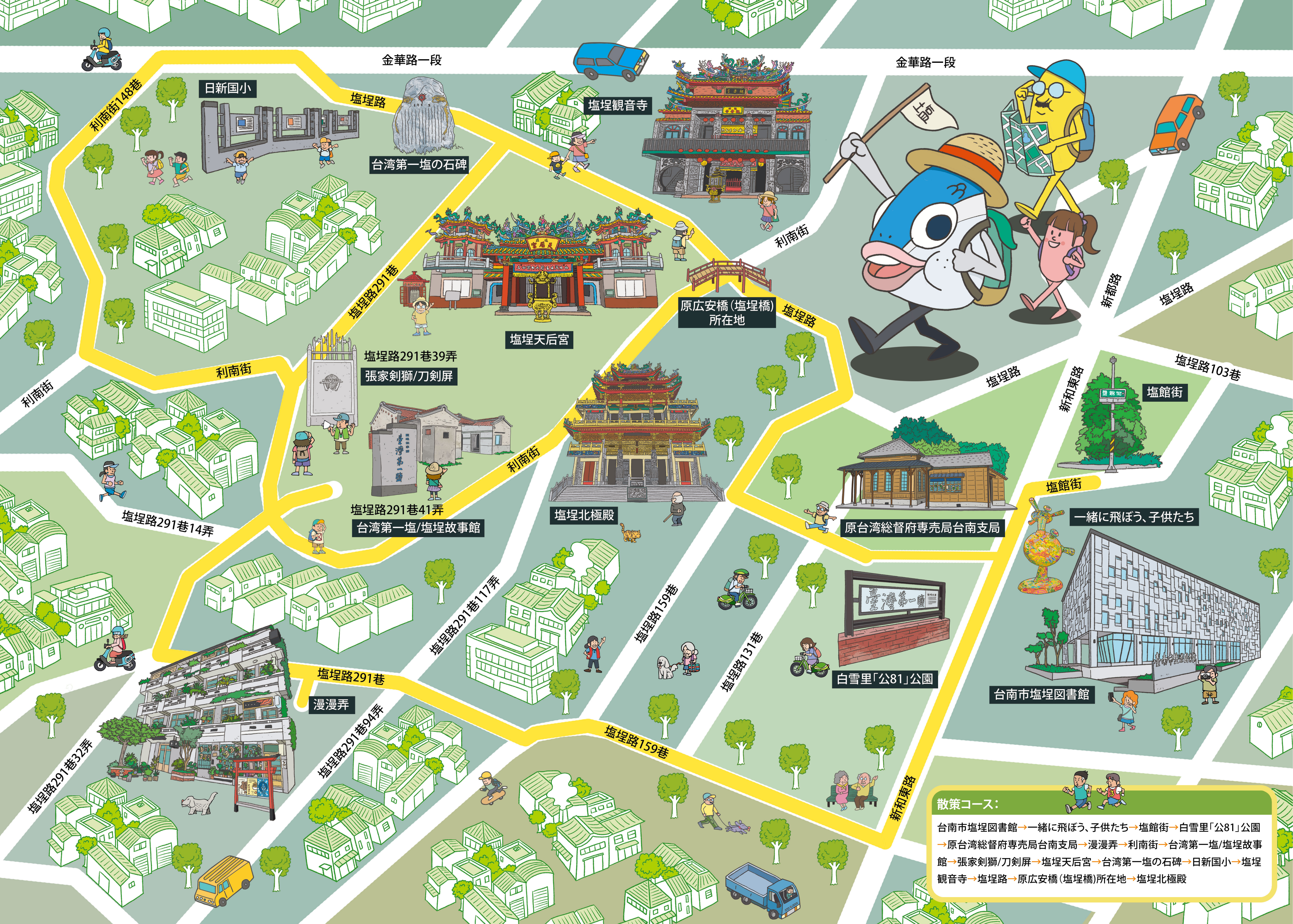
台南市政府 観光旅遊局
 民治市政センター(局本部) (06)6353226
 永華市政センター(旅遊服務科) (06)3901175

- 台南市トラベルサービスセンター**
- 台湾国旅(台旅)台南トラベルサービスセンター
台南市東区北門路二段4号
(06)229082
 - 台南空港トラベルサービスセンター
台南市南区機場路775号
(06)3359209
 - 旧合同庁舎トラベルサービスセンター
台南市中西区中正路2号
(06)2219527
 - 台南新橋(台旅)台南トラベルサービスセンター
台南市麻仁区帰仁大道100号
(06)6008338
 - 台南国旅(台旅)台南トラベルサービスセンター
台南市新営区中山路1号
(06)6378821
 - 月之美術館トラベルサービスセンター(塩水)
台南市塩水区中山路23号
(06)6324453
 - 台南左鎮(化)石園区トラベルサービスセンター
台南市左鎮区榮和里61-1号
(06)5732629
 - 無米楽トラベルサービスセンター
台南市後壁区萬寮75号
(06)6622725
 - 虎頭埤風景区トラベルサービスセンター
台南市新化区中興路42巷36号
(06)5901325

案内方法: 予約制による無料ガイド
 案内時間: 4-10月毎週土、日16:00-18:00
 11-3月毎週土、日15:00-17:00
 集合場所: 塩塚図書館入口

QRコードとSNSリンク:

- 台南トラベルサイト
- 台南ホテルサイト
- 中日英語24時間オンラインサービス
- 台南トラベルFBファンページ
- tripadvisor
- 台南市観光局 1999 24時間
- 台南市観光局 1999 24時間
- 台南市観光局 1999 24時間
- 台南市観光局 1999 24時間



金華路一段

金華路一段

日新國小

塩埕路

台湾第一塩の石碑

塩埕觀音寺

利南街

塩埕路291巷

塩埕天后宮

原広安橋(塩埕橋)所在地

塩埕路

利南街

塩埕路291巷39弄
張家劍獅/刀劍屏

利南街

塩埕北極殿

原台灣總督府專売局台南支局

新和東路

塩館街

塩埕路103巷

利南街

塩埕路291巷14弄

塩埕路291巷41弄
台湾第一塩/塩埕故事館

一緒に飛ぼう、子供たち

塩埕路291巷117弄

塩埕路159巷

塩埕路131巷

白雪里「公81」公園

台南市塩埕図書館

塩埕路291巷

漫漫弄

塩埕路291巷94弄

塩埕路159巷

新和東路

塩埕路291巷32弄

散策コース:
 台南市塩埕図書館 → 一緒に飛ぼう、子供たち → 塩館街 → 白雪里「公81」公園
 → 原台灣總督府專売局台南支局 → 漫漫弄 → 利南街 → 台湾第一塩/塩埕故事館
 → 張家劍獅/刀劍屏 → 塩埕天后宮 → 台湾第一塩の石碑 → 日新國小 → 塩埕
 觀音寺 → 塩埕路 → 原広安橋(塩埕橋)所在地 → 塩埕北極殿